

Seminar Program

	講座テーマ	講師
第一部	若い僕たちでも、本当に言葉を持つことができるのか？ ー私たちが受け取ったこと・感じたこと	(株)S・Yワークス 代表取締役 佐藤 芳直
第二部	みんなで学びたい、未来に残すべき日本人の誇り ※お申込み時に、皆さまが手渡していきたい日本の物語を教えてください。 第二部の講座では、その内容を踏まえてお伝えいたします。	+ (株)S・Yワークス young generation

[セミナー開催要項]

■日時

11月28日(金) 14:00～16:30

■料金

[一般1人目] **88,000**円/人(税込)

▶会場参加+当日の映像商品(DVD or MP4)+特典冊子

会場参加と映像を、同時にお申込みされる方向けの特別料金です。

[一般2人目～] **55,000**円/人(税込)

▶会場参加+特典冊子

[1988年以降お生まれの方] ※ゆとり世代以降の方

5,500円/人(税込) ▶会場参加+特典冊子

経営者・幹部の方と若手社員、是非一緒に参加ください。

映像受講

88,000円/人(税込)

▶当日の映像商品(DVD or MP4)

※DVDをご希望の場合、会場受講・映像受講を問わず、作成手数料として、追加で¥2,200(税込)を頂戴いたします。ご了承下さい。

■場所

トラストシティ カンファレンス 丸の内

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワー N館 11階

- JR 東京駅 八重洲北口改札を出て左方向、日本橋口より徒歩1分
- 東京メトロ 丸の内線・東西線・千代田線・半蔵門線 大手町駅 B9b 出口より徒歩1分
- 東京メトロ 銀座線・東西線/都営浅草線 日本橋駅 A3 出口より徒歩4分



■お申込み方法

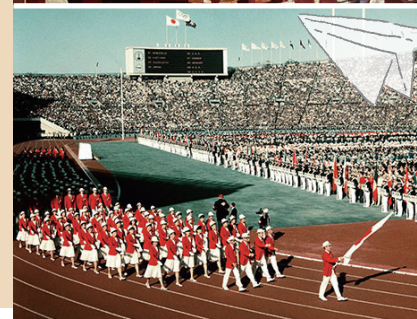
別紙、申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたはお電話よりお申込み下さい。
また、お申込後のキャンセルは、開催前日までにお申し出ください。

※申込み後にキャンセルがある場合、セミナー開催2週間前【11月14日(金)17時】までにご連絡ください。
それ以降のキャンセルの場合、参加費用の100%をキャンセル料として申し受けましてご了承下さい。

※最少催行人数に到達しない場合には、中止とさせて頂く場合がございます。その際には、開催日2週間前までに中止の旨をご連絡致します。



宮城県仙台市青葉区一番町 1-2-25 仙台 NS ビル 8 階
TEL: 022-722-2007 FAX: 022-722-1770 HP: <https://syw.jp>
担当: 島田・松橋・春藤 セミナーコード: 28114



第3回

未来へ手渡したい、私たちの誇り

恩送り セミナー

私たちは、何を受け取り
何を手渡すのか。

11月28日(金)

時間 14:00～16:30

場所 トラストシティカンファレンス丸の内

来場者
限定特典

特別冊子

小学生でも分かる
私たちが受け取ったものー誇りの源泉

真実とは何なのか。自虐的歴史観の中で見失ってしまった、真の“日本人らしさ”と、その源泉にある真実をお伝えします。日本人としての誇りを知り、未来に恩送りするための一歩を踏み出す、大切な一冊です。

【内容】 ※内容は一部変更になる可能性があります。

受け取ったもの①：日本建国～最初の天皇が最初に宣言した言葉

受け取ったもの②：グレートジャーニーと縄文時代
～日本というユートピアを知る

受け取ったもの③：日本神話の発端～自然に対する畏敬の念

受け取ったもの④：日本人の特性①～十七条憲法に繋がっているもの

受け取ったもの⑤：日本人の特性②～五箇条の御誓文に繋がっているもの

受け取ったもの⑥：大東亜という言葉に込められた想い
～日本人だからこそ持ちえた責任感

受け取ったもの⑦：戦後でも受け継がれてきた日本人の特性

料金体系	料金	会場	映像	特典冊子
会場参加 [一般] ※1人目	▶ ¥88,000 (税込)	○	○	○
会場参加 [一般] ※2人目～	▶ ¥55,000 (税込)	○	×	○
映像受講 [企業・事業所単位]	▶ ¥88,000 (税込)	×	○	○
会場参加 [1988年以降生まれの方]	▶ ¥5,500 (税込)	○	×	○

会場参加の方には、
当日のセミナー映像が
必ず付いてきます！

経営者・幹部の方と若手社員、是非一緒に参加ください。

リーダーである経営者はもちろん、
未来に恩送りしていく若者にとっても**“歴史観”**が必要です。
何を託されたのかを知り、言葉にする。そんな機会を創りませんか？

企業は最後の学校である。だから今、未来に種を蒔く。それが、リーダーたる経営者の使命です。

私たちは、学校教育の中で、「日本は悪いことをした」と、当たり前の事実として教わってきました。それは、やがて大人になった私たちの誇りや自尊心を奪ってしまった様に思います。

どんな歴史観を持っているかは個人の自由であり、歴史観を持っているということが大切です。しかしこのままでは、私たちの子孫が歪められた歴史観の中で罪悪感を背負い、卑屈に生きていくことになります。あなたは、そんな未来を望んでいますか？

地道な草の根運動かもしれませんが、今、未来へ種を蒔かない限り、未来、花が咲くことはありません。正しい歴史を知り、言葉にすること。対話すること。決して本を読むだけでは蒔くことができない種があります。

リーダーとして、今、未来に種を蒔く言葉を持ちませんか？

新たに迎えるグローバル化の時代

私たちに必要なことは、

自国のことを語れる自分を創ることです。

恩送りセミナーで
共に考えたいこと

私たちが知らない、
学び、恩送りすべき**“日本の姿”**とは？

日本人らしさとは何か？それはどのような歴史の中で、どのように形成されてきたのか？日本は本当に悪いことをした国なのか？そんな問いに、経営者であるあなたは、社員は、胸を張って答えることができるでしょうか。私たちが生まれた日本とはどんな国かを語ろうとする時、学ぶべき日本の姿が観えてきます。

知らなかった歴史や日本の原点、
異なる歴史の認識が、きっとある一。

01 日本人らしさとは何か？ “みんな仲良く”の源泉

他人を思いやる。後に使う誰かのことを想像する。現代に生きる私たちも無意識に発揮している日本人らしさがあります。その特性が生まれた背景には、日本が辿ってきた歴史がありました。

“みんな仲良く”

つまり、**互譲互助・調和**という日本人らしさ

〈**互譲互助・調和**〉を発揮する日本人の姿とは

身近な人と仲良くすること / 争わない

/ 他の人と折り合って生きる / 困っている人に寄り添う

縄文時代の暮らし 三内丸山遺跡



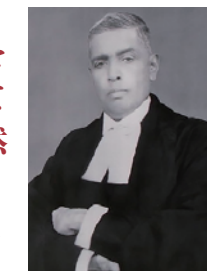
縄文時代、6～8の家族が一つ屋根の下で一緒に暮らしていました。一緒に暮らしていれば、周りに迷惑を掛けたり、人間関係の悩みが起きたりもします。しかし、共に暮らす血縁同士、心を配りながら、助け合って生きる。そんな特性を暮らしの中で培いながら、4,000年以上の時をかけ、日本人らしさの礎を築いてきたのです。

02 日本人は悪いことをした国なのか？ 先の大戦の真実を学ぶ

学校教育の中で私たちは、“日本は悪いことをした”という見方を、疑う余地もない常識として持つようになりました。客観的な事実を知った時、本当の真実が観えてきます。

日本の子弟が歪められた罪悪感を背負って、卑屈、退廃に流されてゆくのを、私は見過ごして、平然たるわけにはゆかない。

ー パル判事



東京裁判で唯一、日本の無罪を主張したパル判事は、決して日本を擁護した訳ではなく、中立的に、国際法に則った判決を下しました。結果、パル判事の判決とは裏腹に有罪判決を下された日本。裁判後、パル判事は、誤った歴史観の中で日本の子孫が、自国に対する誇りと自尊心を失うことを危惧していました。

日本が戦争に入った主たる目的は、
自衛上やむにやまれぬものだった。

“Their purpose, therefore, in going to war was largely dictated by security.”

ー ダグラス＝マッカーサー



大東亜戦争における敵国アメリカの総司令官 ダグラス＝マッカーサーは、終戦後に大戦を振り返って上記のように語っています。資源が採掘できない日本に、アメリカが原油・屑鉄などの禁輸制裁を課した時点で、自衛のために戦争せざるを得ない状況が、アメリカによって作り上げられたのでした。

歴史とは、その民族にとって最も大切な記憶です。

だからこそ、長い歴史の中で育んできた私たちの誇りを、未来へ恩送りするために、
伝えていくべき言葉を、私たちは持たなければいけません。